

東峰 TOHO

広報

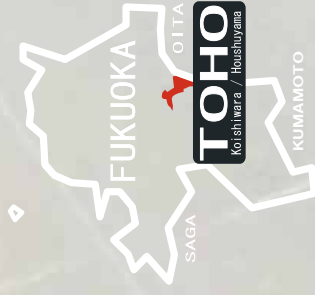
●東峰学園文化祭
(開校10周年+1(プラスワン))

11

NOV/2021/Vol.200



SNSでも村の情報発信中!



【特集1】
祝! 広報「東峰」200号記念企画
～広報紙で振り返る東峰村の歴史～

【特集2】
読書のすすめ

新村長あいさつ



【東峰村長】

さなだ ひでき
眞田 秀樹

10月17日執行の東峰村長選挙におきまして、村民の皆様より信任をいただき東峰村長に就任いたしました。皆様からの力強いご支援や温かい励ましをいただきましたことを心より感謝申し上げます。これまでの役場職員や副村長としての経験を生かし、村政のかじ取りを全力で取り組んでいきたいと決意しているところです。

災害復旧事業も道半ばですので、事業の早期完了を目指し、災害に強い村づくりがまず基本であると思います。喫緊の課題としては、JR日田彦山線の開通、及び日田彦山線沿線地域振興を県と調整しながら振興策を着実に実現するとともに、皆様の生活の足となる地域内の交通網も早期に整備しなければなりません。

産業振興策としては、農林業や窯業などの基幹産業の振興、特に窯業は現在事業実施中のトーキコーディネーター事業が確実に窯業の振興へとつながるように事業を実施する必要があります。商工業の振興も含め、村での生業を持続できるような取り組みを今後も行っていきたいと思います。

また、すべての世代が健やかに安心して暮らせる健康づくり・保健・医療や地域福祉の充実はみんなの願いであり、外出支援や買い物支援などの充実を図るとともに、中でも村の将来を担う子供は、村の宝です。健やかに育てていくための支援を行っていきます。

教育については、「15年の育ちを見守り、誰もが学びたくなる理想の学校をめざす」小中一貫校東峰学園の開校から10年が経ちました。平成21年3月に答申された「保・小中一貫教育」のしくみづくりを職員として携わった当時の初心を振り返り、現代の教育をとりまく環境を踏まえた特色ある村の教育を考えていきます。10月23日に村長として初めての公務「第1回東峰学園文化祭 第14回東峰村子ども文化祭」に出席しました。

これまで別に開催されていた中学部の文化祭と子ども文化祭を統合し、子供たちが進行や準備に主体となり取り組む、中学部の素晴らしい演技を低学年の児童と共有できる、貴重な素晴らしい行事に成長（子どもたちも含め）していることに感動しました。よりよい教育が実践できる環境を整えていきます。

様々な分野でたくさんの課題があります。「ずっと笑顔で暮らせる村」を実現するために着実に課題を解決し、皆さんが安全・安心して暮らせる村を作っていきたい。しかし、村が公的にできる部分には限界があります。自助・共助・公助の「共助」を充実するためにも地域のことは地域でできる。集落のしくみづくりの取り組みを行わなければなりません。持続可能な村、持続可能な集落のためにも、速やかな実現を図らなければならないと考えています。

村づくりは人づくりといわれますが、役場職員の人材育成、地域の人材創出をすすめ、住民と行政が一つの目標に向かって協働し、元気のある村づくりを行うことで、東峰村に住んで良かった、東峰村に住みたいと言われる村づくりに全力を尽くしてまいります。

村民皆様のご理解、ご協力をお願いし、みんなで村を元気にしていきましょう。

よろしくお願いいたします。



新村議会議員紹介



▲ささき たかし佐々木 孝 議員

今回の選挙で多くの方から支持をいただきました。心より感謝申し上げます。選挙を通して、たくさんの方とお会いし、いろんな思いや心温まる意見をお聞きしました。これからは皆様の貴重な声をお聞きし、議会に届けたいと考えています。村民皆様の期待に応えることが、お礼になると考えています。皆様が安心して過ごせる村になるよう、努力精進して参ります。

今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。



▲たかくら みきえ高倉 美紀恵 議員

この度の村議会補欠選挙において村議会議員に選んでいただきました小石原鼓（蔵貫）在住の高倉 美紀恵です。微力ながら情熱と行動力で村民の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っています。

今後ともご支援をよろしくお願いい致します。



買い物弱者の不自由を解消

■ 移動スーパー「とほっぴ号」 出発式

10月18日（月）、高齢者の方や遠くまで買い物に行くことが難しい方を支援する移動スーパー「とほっぴ号」の出発式が開催されました。当日は、村公認キャラクター「とほっぴ」も応援に駆け付けてくれました。

今後は、毎週月・水・木・金（週4日）に各地区を巡回するようになります。詳しくは、東峰テレビのデータ放送でお知らせしていますので、ご確認ください。



村のファンをもっと増やそう！

■ 東峰村応援団が始動しました

10月12日（火）、村内外において東峰村への愛と行動力を持った方々を「東峰村応援団」として組織化し、地域活性化へ取り組む「東峰村応援団拡大プロジェクト」事業が始動しました。この事業は、村の支援者の更なる拡大に向け、応援団員による村の情報発信の仕組みをつくることで来訪者の増加を促すものです。応援団長には村公認キャラクターのとほっぴが、特別大使には上野 恵梨奈氏が、情報発信隊には、九州大学の留学生5名が任命されました。今後応援団は、村の魅力を広く全国に宣伝するとともに、地域との交流・連携を通じて村を応援してくださる人々の輪を広げる活動を行っていく予定となっています。（現在の団員数 36名）



▲村ホームページでも
新規応援団員の応募を受け付けています



村の新たな特産品を目指して

■ 岩屋湧水で育てた「ヤマメ」を使った缶詰（数量限定）ができました！

岩屋湧水を活用し、何かできないかと有志で「湧水の里岩屋」を組織し、昨年からは福岡県朝倉普及指導センターのご支援をいただき、ヤマメの試験養殖に取り組んでいます。コロナ禍でイベントが中止になるなどヤマメを販売する機会が少なかったことから、ヤマメ缶詰の試作品（数量限定）を作りました。

岩屋湧水は、年間を通して水温が約17度とヤマメの生育には適していることがわかりました。今後も試験養殖を継続しながら岩屋湧水を活用した特産品を模索していきたいと思っております。



▲水槽の様子



▲缶詰の味は3種類

コロナに負けるな！

■ 秋の民陶むら祭「秋の陶(すえ)の里めぐり」 & 「NET DE 民陶祭」

10月1日～31日まで、秋の民陶むら祭「秋の陶の里めぐり」が開催されました。秋の民陶むら祭は、例年10月のスポーツの日までの3日間で開催されていますが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間を1ヶ月間として、分散による来村が呼びかけられました。

また、オンラインによる取り組みとして、小石原焼と高取焼が購入できる「2021 秋 NET(ネット) DE(で) 民陶祭」も開催され、盛況のうちに終了しました。



美しい音色に心が癒されました！

■ 響ホール室内合奏団コンサート

10月3日(日)、午前は古民家ヴィラ「あんたげ」とアクアクレタ小石原にてミニコンサート、午後からはいずみ館にて響ホール室内合奏団によるコンサートが行われました。モーツァルトのアイネクライネナハトムジーク、ヴィヴァルディの四季より「秋」第1楽章、アニメ「鬼滅の刃(炎)」、「崖の上のポニョ」など、弦楽器による美しい音色に会場の観客も聴き入っていました。



最新技術を導入

■ DX (デジタルトランスフォーメーション) イベント

10月9日(土)～10日(日)、小石原焼伝統産業会館にて、福岡県主催による*DX(デジタルトランスフォーメーション)イベントが開催されました。東峰村の棚田などを舞台にしたVR体験や、東京と東峰村をインターネット(5G回線)で繋いで、歌手の広瀬香美さんによるオンラインライブ等、参加された方々は、初めて体験する最新技術を取り入れたイベントを楽しまれていました。

*DXとは…デジタル技術によって、人々の生活をあらゆる面でよりよいものに変革することです。



▲ 9日には服部福岡県知事も来村されました



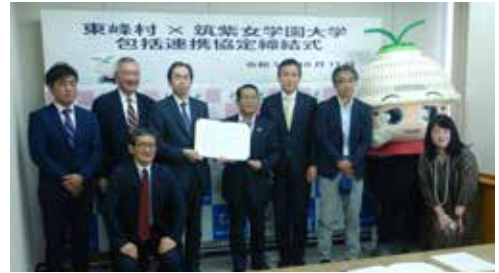
▲ VRゴーグルをかけて対戦ゲーム中！



大学と連携した地域づくり

■筑紫女学園大学と包括連携協定を締結

10月11日（月）、筑紫女学園大学との包括連携協定調印式が行われました。筑紫女学園大学とは、今までも災害ボランティアや農業体験等、村内のイベントの活動を通して、村への支援や魅力発信等にご尽力をいただいております。この協定により、村主催イベントの活性化、東峰学園との連携、地域事業の活性化、復興支援事業への参画等、幅広い分野において、今後これまで以上に連携・協力活動の展開されること



おめでとうございます！

■ふれあいの森林づくり表彰 国土緑化推進機構理事長賞受賞

宝珠山百年の森づくり実行委員会の長年の森林づくりの実績が評価され、公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「令和3年度ふれあいの森林づくり表彰国土緑化推進機構理事長賞」を受賞しました。ふれあいの森林づくり表彰とは、緑化の推進に顕著な実績をあげた団体を表彰するもので、受賞者は全国で10団体です。

百年の森づくり実行委員会は、平成12年に発足し、枝打ちや下草刈り、植樹活動を行い東峰村の緑化運動の推進に大きく貢献しています。



村のおすすめ品を紹介します

■東峰村の「小さな宝」認定品の販売を開始

10月1日（金）より道の駅小石原・つづみの里農産物直売所において、村のおすすめ品として認定した品物の販売を開始しました。また、商品を製造・販売している団体でもそれぞれ認定マークを貼付して販売を始めています。認定マークは本年度新しく公募を行い、福岡県在住のデザイナー久永美さんの作品が採用となりました。今後も村の農林水産物を使用したお勧め商品の認定を続けてまいります。

村民の皆様もご注目いただくとともに、年2回の審査会に新たな特産品を申請くださいますようお願い申し上げます。

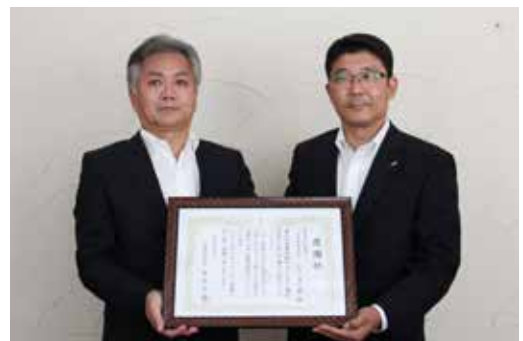


株式会社大藪組様より

■東峰学園の子ども達へ寄付金をいただきました

10月1日（金）、株式会社大藪組様より小川社長が来村され、東峰学園の子ども達へ役立てて欲しいと寄付金を頂きました。株式会社大藪組様は、平成29年7月九州北部豪雨災害の復旧工事に今もなお携わり、村の復旧・復興にご尽力頂いております。

子どもたちの教育活動等に有効活用させていただきます。誠にありがとうございました。



▲右：株式会社大藪組 小川社長
左：東峰学園 梶原校長

生活習慣病を防ぐ 食べ方



どれから食べる？
ご飯、魚、豆腐、野菜？

1品目は、野菜料理から

野菜に多く含まれる食物繊維は、糖質やコレステロールの吸収を緩やかにしてくれる働きがあるうえ、かむ回数が増えるので満足感も感じやすくなります。

また、野菜のカロリー量は、肉類の1/10程度と低いので、たっぷり食べても安心です！毎食、必ず食べるようにしたいものですね。



2品目は、たんぱく質（魚、肉、卵、豆製品）を多く含む食品

野菜を先に食べ、次に魚・肉・卵・豆製品を食べてから炭水化物（ご飯や麺類など）を食べるとインクレチンがよく働くと分かってきました。

栄養素が小腸に届くと、小腸からインクレチンというホルモンが出ます。インクレチンは、胃に働きかけて、食べ物が胃から出ていく時間を遅らせ、食後の血糖上昇をゆるやかにします。また、脳に働きかけて、食欲を抑える働きもしています。



最後に、炭水化物を



炭水化物を最後に食べると、食後の血糖値の上昇を抑えられます。

今年度 最後の総合健(検)診！

日程	受付時間	会場
12月11日(土)	8:00~11:00	せせらぎ鼓

祝！広報「東峰」200号記念企画

～広報紙で振り返る村の歴史～

平成17年3月28日に日本で一番小さな対等合併として旧宝珠山村と旧小石原村が合併し、東峰村が誕生して16年が経過しました。その間、村の様々な情報を伝えてきた広報「東峰」は、毎月15日、途切れることなく発行されてきました。この度、村民と行政を繋ぐ架け橋でもある広報「東峰」が第200号を迎えることになりました。

第200号を迎えるまでに、広報紙にはたくさんの村民の皆さんにご登場いただきました。今月号の広報紙では、合併後の東峰村の歴史を、過去に広報紙に掲載した写真とともに振り返ります。

*主な出来事のみ掲載しています。



■トピックス①

2005年(平成17年)4月号 新村「東峰村」誕生

合併後、初めて発行された広報「東峰」です。表紙は3月にオープンしたばかりの山村文化交流の郷「いぶき館」の写真でした。

3月28日に新村「東峰村」の開村式がリニューアルした宝珠山庁舎で執り行われました。多くの関係者の方々に見守られながらの新村スタートとなりました。



■トピックス② 2005年（平成17年）7月号 岩屋神社上棟式

国の重要文化財である岩屋神社本殿及び、境内社熊野神社本殿の建造物保存修理工事の上棟式がありました。この工事は両社殿ともに建立から300余年が経過し、長年の雨風に晒され木部の腐食等により倒壊の危険もあったため、解体復元工事が行われました。



■トピックス③ 2006年（平成18年）3月号 竹地区の棚田が「美しい日本の歴史的風土準百選」に

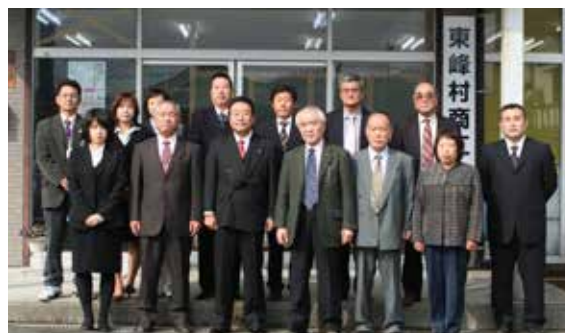
竹地区の棚田と岩屋神社周辺一帯が、「美しい日本の歴史的風土準100選」に選定されました。全国からの応募数698点の中から、歴史的・文化的資産が周囲の自然的環境と一帯となって、次世代に継承すべき日本を代表する美しい歴史的風土を形成している地域を対象として、特別枠51点、百選101点、準百選116点が選定されました。

受賞には、「美しい景観を次世代へ伝えたい」という竹棚田景観保全委員会や百年の森づくり実行委員会など地元住民の方々の保全活動が欠かせませんでした。



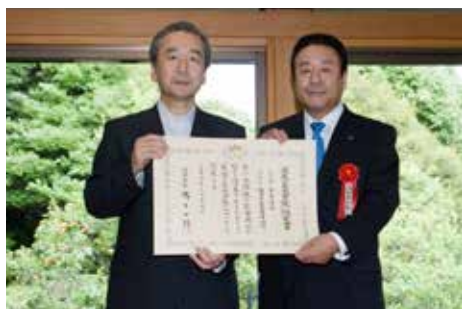
■トピックス④ 2007年（平成19年）5月号 東峰村商工会除幕式

合併に伴い、小石原商工会40年、宝珠山商工会47年の歴史に幕が下され、東峰村商工会として、新たな第一歩を踏み出した瞬間でした。



■トピックス⑤ 2007年（平成19年）8月号 岩屋湧水が「平成の名水百選」に

水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、環境省より「平成の名水百選」が選定され、全国162件の応募の中から本村の「岩屋湧水」が福岡県で唯一選ばれました。また、名水百選認定の報告に当時の福岡県の麻生知事にも表敬訪問し、麻生知事からは「おいしい」と称賛の言葉をいただいたようです。



■トピックス⑥ 2010年（平成22年）4月号 小中一貫東峰学園が開校

3月に宝珠山小学校、小石原小学校の歴代校長を始めとする先生方等にご参列いただき閉校式が行われました。宝珠山小学校は旧宝珠山小学校と大行司小学校が昭和47年に統合して39年間、小石原小学校は旧小石原小学校と鼓小学校が昭和56年に統合して30年間、多くの卒業生を送り出してきました。

4月からは新しく誕生した小中一貫校「東峰学園」が、スタートとなりました。



■トピックス⑦

2011年（平成23年）11月号 「日本で最も美しい村」連合加盟

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、小さくても光輝くオンリーワンの特徴を持つ農山村が、自らの村に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるのをお手伝いする団体です。東峰村は以前から「河川をきれいにする条例」や「ごみ拡散防止条例」などの条例を制定し、村の環境美化に努めてきました。合併後の生き残りをかけて、「美しい村」を継承するため、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。



■トピックス⑧

2014年（平成26年）1月号 筑後川源流の碑建立

小石原焼伝統産業会館にて、「筑後川源流の碑」建立の除幕式が行われました。この建立は、筑後川源流プロジェクト会議が筑後川を核とした地域振興、自然環境保護のシンボルとなるように建てられたもので、福岡県では最初の建立となりました。



■トピックス⑨

2015年（平成27年）10月号 トレイルランニング

舗装されていない山道などを走るトレイルランニングの大会「修験道トレイル in 東峰村」が開催されました。当日は、参加者112名が、小石原焼伝統産業会館からJR岩屋駅までの登山道コース(15km)を駆け抜けました。



■トピックス⑩ 2016年（平成28年）8月号 東峰村祭 in 博多

福岡市のライブハウス「Gate'7（ゲイツセブン）」にて、東峰村民プロモーションプロジェクト主催による「東峰村祭 in 博多」が開催されました。「村祭を出前する」というコンセプトの元、観光プロモーションビデオ観賞、田舎料理の試食、夜神楽、ろくろ実演や観光PRなどのイベントが行われ、定員120名の会場は来場者で満員となり、大変な盛り上がりとなりました。



■トピックス⑪ 2017年（平成29年）2月号 福岡県公立優秀校に東峰学園が選ばれました

平成28年度福岡県とびうめ教育表彰式が福岡県庁でおこなわれ、東峰学園が福岡県公立優秀校の1つに選ばれました。

これは優れた教育活動を表彰することを目的としており、福岡県の市町村立学校で4校が受賞し、そのうちの1校として、東峰学園が表彰されました。



■トピックス⑫ 2017年（平成29年）8月号 平成29年7月九州北部豪雨災害

平成29年7月5日は、東峰村にとって永遠に忘れられない日となりました。その日、午後から降り始めた豪雨によって、3名の方がお亡くなりになるという、東峰村始まって以来の痛ましい事態となりました。



■トピックス⑬ 2018年（平成30年）4月号 東峰村復興計画策定へ

東峰村復興計画策定委員会の三谷委員長（九州大学大学院教授）から、東峰村へ復興計画（案）が手渡されました。この計画は、5回にわたる策定委員会と大字単位の4地域で各3回開催した地域住民協議会等を経てまとめられたものです。一日でも早い復旧・復興と将来に渡って安全で安心して暮らせる村づくりへの思いが込められていました。



■トピックス⑭ 2018年（平成30年）5月号 東峰村どんたくパレード参加

災害復旧支援に対する感謝と復興に向けて頑張る姿を伝えるために、「博多どんたく港まつり」のパレードに参加しました。博多那能津会からお声かけいただき実現したもので、参加者は村公認キャラクター「とほっぴ」をあしらった法被を着て、しゃもじを叩きながら約1.2kmの道のりを行進しました。



■トピックス⑮ 2019年（令和元年）8月号 岩屋キャンプ場リニューアルオープン

老朽化の為改修中だった岩屋キャンプ場が、棚田景観保全プロジェクトの拠点の1つとしてリニューアルオープンしました。近年のキャンプブームなどを背景に、コテージは年間を通じて利用できるように外壁に断熱材をいれ、内装はゆったりとくつろぎの時間を過ごせるような落ち着いた雰囲気となるように改修しました。



■トピックス⑯ 2019年（令和元年）12月号 筑後川フェスティバル in 東峰村

「災害を乗り越え、水・森・人の共生を考える」をテーマに、第33回筑後川フェスティバル in 東峰村(2日間)が開催されました。初日は、オープニングイベントとして福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校生による「復興応援歌」が歌われ、その後開催行事、コンセンサス会議と続きました。2日目には、筑後川の上流巡りバスツアーとして村内被災地及び観光視察、小石原川ダム・寺内ダムを巡るツアーが行われました。



■トピックス⑰ 2020年（令和2年）3月号 不通区間を歩いてつなげよう

日田彦山線の完全復旧を求める会主催の「日田彦山線の不通区間を歩いてつなげよう」ウォーキングイベントが開催されました。子どもから大人まで100名以上の方が参加され、夜明駅から筑前岩屋駅までの約14kmの道のりを歩ききりました。



■トピックス⑱ 2020年（令和2年）5月号 古民家ヴィラ「あんたげ」と里山カフェ「棚田屋」が完成

美しい棚田や隣接する岩屋公園、岩屋神社など歴史と自然に恵まれた環境を活かして棚田の景観を維持・保全することを目的に進められてきた「棚田景観保全プロジェクト」事業により、築132年の古民家を改修した宿泊施設（古民家ヴィラ「あんたげ」）とカフェ（里山カフェ「棚田屋」）が宝珠山竹地区に完成しました。

両施設とも約400年にわたって守り継がれてきた歴史ある棚田の中で美しい眺望を堪能でき、都市部に住む方々が訪れたくなるような施設になりました。



■トピックス⑲ 2020年（令和2年）7月号 東峰テレビ「むらびと未来力」放送

東峰テレビにて特別番組『むらびと未来力』が放送されました。東峰テレビでは、平成29年7月九州北部豪雨災害で全国の方から頂いた村への支援の恩返しとして、村のその後を全国に伝えようと特別番組を企画しました。今回は、災害から3年間を振り返り、現在の心境や村の将来像などについて村の方々と語り合いました。



■トピックス⑳ 2021年（令和3年）3月号 旧小石原小学校の改修が完了

水源の森交流館（仮称）として村が整備を進めてきた旧小石原小学校の校舎の改修工事が完了し、「アクアクレタ小石原」としてオープン準備が進められていました。これから新たな地域交流の拠点としての活用が期待されています。



■トピックス㉑ 2021年（令和3年）5月号 小石原川ダム建設事業が完了

小石原川ダム建設事業が完了し、一般公募で「令和あさくら湖」と命名されました。今後は福岡都市圏をはじめ県南地域への安定した水道用水や農業・工業などの不特定用水の供給、流域への洪水被害の軽減などの効果が期待されています。



歷代広報紙

2005年



2006年



2007年



2008年



2009年



2010年



2011年



2012年



2013年



コレクション

2014年



2015年



2016年



2017年



2018年



2019年



2020年



2021年



創刊号から200号までの発行にはたくさんの広報担当者が編集に携わってきました。担当者は、毎月広報「東峰」が村民の皆様に愛され、村民と行政を繋ぐ架け橋となるよう、工夫を凝らし作成しています。この度、記念すべき第200号を迎えられたのは、ご愛読頂いている村民の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。私たち広報担当者はこの歴史を引き継ぎ、さらに後世に繋げていくものにしていきたいと考えていますので、これからも広報「東峰」をよろしく願います。

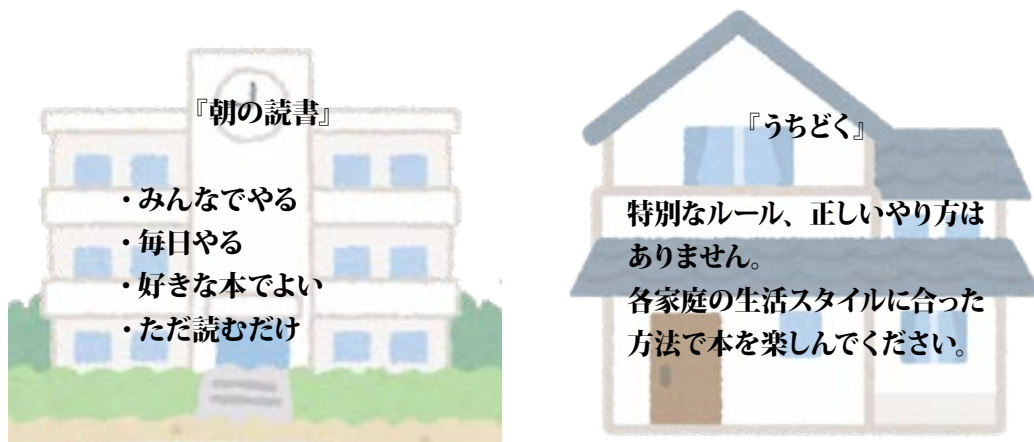
うちどく（家読）のススメ

～家族で読みニケーションはじめませんか？～

《学校での『朝の読書』から家庭での『うちどく（家読）』へ》

授業が始まる前の10分間、生徒と教師全員が好きな本を読む「朝の読書」は、学校での読書習慣として定着している30年以上続く活動です。そこで読書が習慣化し、読書の楽しさを知っている子どもたちを中心に、家族みんなで本を読む新たな読書スタイル「うちどく（家読）」が2006年より始まりました。

「うちどく」は読書推進だけでなく、本をコミュニケーションツールとしてお互いの理解を深め、家族の絆がいつそう深まることを目指した取り組みです。



《まずは大人が楽しもう!》

現代は大人も子どももそれぞれに忙しく、落ち着いて本を読む時間がない、自宅に本棚がないという家庭も増えているようです。そんな中“うちどく”をするのは難しく感じるとは思いますが、子どもやお孫さんと本屋や図書館へ出かけたり、マンガや小説が原作となった映画を観ることも“うちどく”になります。

「子どもに本を読ませよう」とするのではなく「家族で一緒に本を楽しもう」と考えて取り組んでみてください。

東峰村図書室おすすめの「うちどく本」



◆ねるじかん（鈴木 のりたけ）

最後のページにクイズがあります。それをするとこの本を“読む”のではなく“見る”ようになります。

◆旅の絵本シリーズ（安野 光雅）

まるでドローンで撮ったかのような、上空から見た街並みや自然の風景が細部まで描かれている文字のない絵本です。文字がないのにどう読むの？と悩むかもしれませんが、童話の主人公や名画の一場面、スターや事件などがさり気なく描かれているので、家族で読むと盛り上がります。

「この絵は何をしていると思う？」とお互いに聞き合ってみるのもいいでしょう。

■ 第1回東峰学園文化祭・第14回東峰村子ども文化祭

10月23日(土)に「第1回東峰学園文化祭・第14回東峰村子ども文化祭」を開催しました。これまでの子ども文化祭では全学年のステージ発表を披露することが適いありませんでしたが、今年度は保育所・保育園から小学部・中学部までの全学年がステージ発表を披露することができ、各年代の子ども達がお互いの発表を観ることで「*長幼の序」を育む機会となりました。

*長幼の序とは…年長者と年少者の間で守るべき秩序。年少者は年長者を敬い、年長者は年少者をいつくしむというあり方のことです。(孟子「滕(とう)の文公」より)



▲1年生



▲2年生



▲3年生



▲4年生



▲5年生



▲6年生



▲7年生



▲8年生



▲9年生



▲小石原保育園



▲美星保育所



▲展示作品

■ 自治公民館参加の『わくわく秋の体力測定』を実施しました

10月24日(日)に東峰村公民館・スポーツ推進委員主催の『わくわく秋の体力測定』を実施しました。自治公民館(14地区)から総勢198名の方が参加しました。20～64歳の方は「握力」・「長座体前屈」・「反復横跳び」・「立ち幅跳び」、65～79歳の方は「握力」・「長座体前屈」・「10m障害歩行」・「開眼片足立ち」のそれぞれ4種目を測定しました。体力測定は自分の体力を改めて知る機会になったかと思います。これを機に定期的な運動や体力づくりをおこないましょう。

*毎月第2水曜日にはヨガ教室、第4月曜日にはニュースポーツ教室を実施しています。運動週間としてぜひご参加ください。



▲握力測定



▲長座体前屈



▲立ち幅跳び



▲反復横跳び



▲10m 障害歩行



▲開眼片足立ち

■ 東峰 Jr. みらい塾 木イス作り

10月2日(土)、東峰 Jr. みらい塾は木イス作りを行いました。児童24名保護者を含む大人17名が参加し、低学年と高学年で部材の違うイスに取り組みました。日頃のこぎりを使うことも、釘を打つこともない児童も多かったですが、その分保護者の方々が奮闘して全員作り上げる事が出来ました。イスが出来上がると全児童満足気で記念写真におさまっていた。今回はほぼ電動ドリルでネジを打ち込みましたが、次回は金づちと釘で挑戦してもらおうと思います。お手伝い頂いた保護者の皆様お疲れ様でした。



おうちクッキング 第2弾

～地元の野菜を食べて丈夫な体に！～

お菓子作りを楽しもう！！
秋のパウンドケーキ

下準備とポイントをおさえておけばお菓子作りの時間が楽しくなります。ぜひ挑戦してみてください。



まずはレシピを読んで理解して
道具の準備、計量、下準備をしましょう！！



■さつまいもとかぼちゃのパウンドケーキ



自分で作った野菜でお菓子作りを
楽しんでみてください！！



【下準備】

- ・Aを合わせてふるっておく
- ・卵を溶いておく（卵は室温に戻しておく）
- ・Bをさいの目に切ってレンジで2～3分加熱する
- ・オーブンを180℃に予熱する
- ・型に合わせてクッキングペーパーを敷く

【材料】（18cm パウンド型）

- A[
- ・薄力粉 100g
 - ・ベーキングパウダー 小さじ2
 - ・オリーブオイル 50g
 - ・砂糖 70g
 - ・卵 2個
- B[
- ・かぼちゃ 70g
 - ・さつまいも 70g

【作り方】

- ① ボウルにオリーブオイルと砂糖を加えて混ぜる
- ② ①に溶き卵を3～4回に分けて加え、その都度よく混ぜる
- ③ ②にAを加えゴムベラで切るように混ぜ、粉っぽさがなくなったらBを加え、さっくり混ぜて型に入れる
- ④ 型を5センチほど持ち上げて2.3回落として生地の中の空気を抜き、180℃のオーブンで25～30分焼く

♡『らぶすぽ東峰』次回予告♡

地域総合型スポーツクラブ

らぶすぽの活動	場所	日時	備考
ニュースポーツ教室	村民センター	11月22日（月） 19：30～	自由に参加できます。
健康体操『ヨガ教室』	いずみ館 多目的ホール	12月8日（水） 19：30～	会員500円 非会員1,000円 ※マットはこちらで準備します。



役場からのお知らせ

宝珠山庁舎：72 - 2311
小石原庁舎：74 - 2311

住民税務課

◆令和3年度女性に対する暴力をなくす運動について

11月12日（金）から25日（木）までの2週間は、国の男女共同参画推進本部（内閣府男女共同参画局が事務局）が定めた「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です。夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアルハラスメント、ストーカー行為などの女性に対する暴力はその人権を著しく侵害するもので、決して許されるものではありません。

期間中、女性に対する暴力根絶のための啓発活動や、ポスターやリーフレットを活用したキャンペーンなどが全国各地で実施されます。

この機会に住民、地域団体やNPO、企業、行政等が一体となって、暴力に悩む女性を生み出さない、暴力を許さない社会づくりに取り組みましょう。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

お問合せ

東峰村役場住民税務課（電話：0946-74-2311）

住民税務課

◆第73回人権週間及び県内一斉無料相談

12月4日（土）～10日（金）までの1週間は「第73回人権週間」です。そこで、12月5日（日）に県内一斉無料電話相談を午前9時から午後5時まで実施します。家庭内のもめごとや隣近所とのトラブル、いじめや差別など、悩みや困りごとがあったら、どんなささいなことでも、一人で悩まずお電話ください。人権擁護委員と法務局職員が無料で相談に応じます。

秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

●県内一斉無料電話相談

日時：12月5日（日）午前9時から午後5時まで
電話番号：0120-889-405（0120はやくよーご）
（携帯電話、スマートフォンからもご利用いただけます。）

- *みんなの人権110番 0570-003-110
- *子どもの人権110番 0120-007-110
- *女性の人権ホットライン 0570-070-810



人権イメージキャラクター

「人KENまもる君」&「人KENあゆみちゃん」

お問合せ

東峰村役場住民税務課（電話：0946-74-2311）

教 育 課

◆今月は「ふくおか教育月間」です！

●「ふくおか教育月間」とは？

福岡県教育委員会では「福岡県の教育月間を定める規程」を令和2年2月に制定し、毎年11月を「ふくおか教育月間」とすることといたしました。

子どもたちが変化の激しい時代の中でたくましく生き抜く力を身に付けるために、学校、家庭、地域が連携・協働し、県民こぞって子どもたちを育てていくことが求められています。

子どもたちへの教育について関心や理解を深める機会として、「ふくおか教育月間（11月）」中に実施される教育に関するイベントや学校行事などに、積極的に参加してみましよう。家庭や地域で「これからの教育」を一緒に考えてみませんか。



「ふくおか教育月間」

イメージキャラクター「ミライル」

お問合せ

東峰村役場教育課（電話：0946-72-2301）

農 林 観 光 課

◆農地の出し手、受け手を募集します！

農地中間管理機構（公益財団法人 福岡県農業振興推進機構）を通じて、農地の貸借を行いますか？ 農地中間管理機構は、農地を貸したい出し手から、規模拡大などを行いたい受け手（担い手）への農地の集積・集約化を進めるため、農地の中間的受け皿となる組織です。農地中間管理機構は、公的機関ですので、農地の出し手は、確実に賃料が振り込まれて安心です。また、受け手は、複数の所有者の農地の契約を一本化できるメリットがあります。その他にも、農地中間管理機構を活用することの優遇施策があります。申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

[令和3年11月公募]

内 容	期 日（予定）
農地の出し手の募集	随時
農地の受け手の公募	随時 （※取りまとめの目安は、11月末です）
機構を通じた農地の権利設定日 （出し手→機構、機構→受け手）	令和4年の5月1日又は 6月10日（※相談可）



お問合せ

東峰村役場農林観光課（電話：0946-72-2313）

1. 趣旨

小石原焼陶器協同組合はこのたび、新型コロナウイルス収束後の東峰村への来村者増加を見据え、小石原焼伝統産業会館を一部リニューアルし、小石原焼・高取焼の知名度およびブランド価値の向上を目指します。

令和4年3月（予定）のリニューアルに当たり、観光客、村民、窯元をはじめ、多くの方に末永く愛され、親しみを持っていただけるような愛称を募集します。

2. 施設概要

小石原焼伝統産業会館は、小石原焼・高取焼の普及を目的に平成10年10月に開館した施設です。施設は、「展示室」、「体験工房」、「登り窯」の3つのエリアに分かれています。

(1) 展示室

展示室では小石原焼・高取焼の歴史や伝統技法を学ぶことができます。また、小石原焼陶器協同組合に加盟する全44窯元の代表作を見ることができます。

(2) 体験工房

大人から子どもまで楽しめる陶芸体験工房です。絵付け体験だけでなく、陶土から手でこねたり、ろくろを回したり、本格的な陶芸体験ができます。

(3) 登り窯

平成20年に完成した登り窯です。400年焼き継がれてきた小石原の登り窯の伝統を次代に伝えることを目的として築られました。

3. 応募方法**(1) 応募資格**

どなたでも応募できます。

1人何点でも応募できますが、1回の応募につき1点の応募とします。

(2) 応募内容

小石原焼伝統産業会館の施設全体の愛称

※応募に当たっては、以下の内容にご留意ください。

- ・小石原焼および高取焼の拠点施設であることがイメージできるもの。
- ・誰もが親しみやすく分かりやすいもの。
- ・漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字の組み合わせは自由です。
- ・文字数制限はありません。
- ・応募者自身の創作による未発表のもので、第三者の知的財産権を侵害しないもの。

(3) 募集期間

令和3年11月15日(月)～12月31日(金) ※必着

(4) 応募方法

①記載項目

- ・施設愛称 ※ふりがなをつけてください。
- ・愛称の意味や理由
- ・氏名、住所、電話番号

②宛先

①の記載項目をご記入の上、以下のいずれかの方法でご応募ください。

●メール

宛先：koishiarayaki@gmail.com

件名：小石原焼伝統産業会館愛称募集

●はがき

宛先：〒838-1601 福岡県朝倉郡東峰村大字小石原730-9

「小石原焼伝統産業会館 愛称募集係」宛

4. 選定方法等

(1) 選定方法

小石原焼陶器協同組合の理事会において選定の上、採用作品を決定します。

(2) 賞

最優秀賞1点(賞金3万円)

※複数の方から同一名称の応募があった場合は、愛称の意味や理由により受賞者1名を決定します。

(3) 発表

広報「東峰」紙面ならびにホームページ「天空の窯郷」(<https://tenku-koishiwara.com>)にて発表します。

5. 注意事項

- ・応募作品に関する著作権等の一切の権利は、小石原焼陶器協同組合に帰属します。
- ・応募作品は返却しません。また、応募に伴う一切の費用は応募者の負担とします。
- ・審査の結果、「該当なし」とする場合があります。
- ・最優秀作品を採用作品としますが、必要に応じて補作、修正して使用する場合があります。
- ・応募者の個人情報、愛称募集に関わる事項以外には使用しません。

6. お問い合わせ

小石原焼伝統産業会館愛称募集事務局(小石原焼陶器協同組合内)

電話：0946-28-8664

メール：koishiarayaki@gmail.com

保健福祉課

◆11月30日（いいみらい）は「年金の日」です！

厚生労働省では、「国民お一人お一人、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、11月30日（いいみらい）を「年金の日」としています。この機会に、ご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。「ねんきんネット」をご利用いただくと、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、次のようなさまざまな機能がご利用いただけます。

【ねんきんネット機能一覧】

- ・将来の年金見込額の試算
- ・電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- ・受給に関する各種通知書の確認など

ご利用方法には以下の2つの方法があります。

- ・マイナポータルからログイン
 - ・日本年金機構のホームページからログイン
- 詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。

○日本年金機構ホームページ（ねんきんネット）

https://www.nenkin.go.jp/n_net/



お問合せ

東峰村役場保健福祉課（電話：0946-74-2311）

保健福祉課

◆セルフメディケーションを心がけましょう！

セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な体の不調は自分で手当てすること」です。

セルフメディケーションを心がけることは、自らの日常的な健康の維持増進や疾病の予防への取組につながります。日頃からの自分の健康状態を把握しながら生活習慣の改善に取り組み、市販薬など上手に活用しながら、セルフメディケーションを心がけましょう！

【セルフメディケーションのメリット】

1. 健康管理の習慣が身につく
2. 医療や薬の知識が身につく
3. 病気により、医療機関で受診する手間と時間が省かれる
4. 通院が減ることで、全体の医療費の増加を抑制
5. セルフメディケーション税制での所得控除



お問合せ

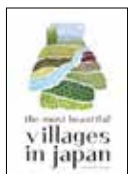
東峰村役場保健福祉課（電話：0946-74-2311）



■ つづみの里陶器ギャラリー販売マネージャー（加藤 美味さん）

つづみの里陶器ギャラリーの販売スタッフとして活動しています。着任から1年、特に SNS での情報発信を主に行い、また、食空間コーディネーターの資格を取得し店舗内のディスプレイに力を入れてきました。以前からご来店いただいていたお客様からも、とてもいい雰囲気になったとありがたいお言葉を日々いただいております。常連のお客様も増え、店舗だけでなく、SNS にてライブ配信等を通じ九州外の遠方のお客様にもお買い物をしていただける方法を確立しました。

仕事時間外においても東峰村に関する情報発信を積極的に行い、また、地域サロンの運営に携わらせていただくなど、非常に充実した日々を送らせていただいております。東峰村が大好きです!!引き続きよろしくお願い致します。



「日本で最も美しい村」連合ニュース

本コーナーでは、東峰村が加盟する「日本で最も美しい村」連合（通称、美しい村連合）に関する情報を九州内の加盟村の輪番でお伝え致します。今回は、長崎県『小値賀町』からお伝えします。

長崎県 おぢかちょう
小値賀町

小値賀町は、長崎県の五島列島北部に位置し、小値賀本島を中心に大小17の島々から成り立ち、島のほとんどが西海国立公園の指定を受けています。また、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「野崎島の集落跡」を有しています。

小値賀町には、リゾート施設もコンビニもありませんが、自然があり、人情があり、おもてなしがあります。「何も無いけど何よりも大切なものがある」それが小値賀町の魅力です。

2021年10月3日（日）にビューティフルデーを実施しました。当日は、62名（41世帯）参加していただき、町の歴史に触れながら、町内の美化活動に貢献していただきました。

今後もこのような活動を継続させていきたいと考えています。





○小郡駐屯地モニターの公募

小郡駐屯地では、小郡市及び近郊にお住まいで行事等への参加が可能な方に、防衛省及び当駐屯地に対しご意見を頂くため、駐屯地モニターを募集します。

■活動の概要

- ・自衛隊（駐屯地）の概要説明
- ・各種行事等へのご案内

■応募資格

20歳以上で議会議員、公務員、行政相談員以外の方

■応募方法

官製はがきに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・生年月日・職業・電話番号・公募の理由を記入の上ご送付下さい。

■採用数

5名

■任期

1年（4月～3月）

■申込締切

12月17日（金）

■お問合せ先

小郡駐屯地広報班
電話：0942-72-3161



○無戸籍でお困りの方へ

戸籍に記載されていないため、各種の行政サービスが受けられないなどでお困りの方は、法務局や市区町村の戸籍担当窓口、または福岡県弁護士会にご相談下さい。また、戸籍に記載されていない方をご存じの方も、ご相談下さい。どのような手続きができるかを一緒に考えましょう。相談は無料で、秘密は厳守されます。

■相談窓口

- ・福岡法務局戸籍課
電話：092-721-9334
（平日 8：30～17：15）
- ・福岡県弁護士会子どもの人権110番
電話：092-752-1331
（土曜日：12：30～15：30）

■お問合せ先

福岡法務局戸籍課
電話：092-721-9334



○福岡県最低賃金額改定のお知らせ

福岡県最低賃金が次のとおり改定されました。

【最低賃金】

10月1日から1時間870円（28円アップ）

最低賃金は、雇う上でも、働く上でも、最低限のルールです。使用者も、労働者も、必ず最低賃金の確認をしましょう。最低賃金引き上げには、「業務改善助成金」をご活用下さい。

■お問合せ先

福岡労働局労働基準部 賃金室
電話：092-411-4578

○家族セミナー開催のお知らせ

■日時

12月4日（土） 13：30～16：00

■場所

ピーポート甘木 第2学習室
（朝倉市甘木198番地1）

■内容

筑後若者サポートステーションの取り組みと事例報告～ひきこもりから就労へ講師および利用者のお話～
＊講話及び家族交流会を実施します。

■定員

12名

■対象

15歳～49歳までの無業の方のご家族・関係者

■参加方法

事前予約制

■お問合せ先

筑後若者サポートステーション
電話：0942-30-0087



○介護のお仕事復帰セミナー開催

- 日時
12月10日(金) 11:00～16:00
- 場所
クローバープラザ
(春日市原町3-1-7)
- 内容
介護技術の復習(講義・実技)
- 対象
介護福祉士か介護関係研修課程修了者で、介護分野に就業していない方(定員20名)
- 参加費
無料
- お問合せ先
福岡県社会福祉協議会福祉人材センター
電話:092-584-3310



○福岡県地域住民・家族介護者向け 認知症公開講座

認知症に興味のある方など、ぜひ参加お申込みください。

- 日時
1月22日(土) 14:00～16:00
- 場所
ピーポート甘木 中ホール
- 内容
講演:「認知症の人と共に生きる
～forからwithへの転換～」
講師:猿渡 進平さん
(医療法人静光園 白川病院 医療連携室長)
浦 幸寛さん
(小規模多機能型居宅介護てつお 管理者)
- 定員
80名(先着順・予約制)
- 対象者
新型コロナウイルスワクチン2回接種済の介護されているご家族や医療・介護職等、認知症に興味のある方
- 参加費
無料
- お問合せ先
朝倉記念病院 福岡県認知症医療センター
電話:0946-22-1014

○アルコール依存症に関する講演会開催

自身や家族のアルコールに関する問題を、一人で悩んでいませんか?アルコール依存症は飲み方をコントロールできない病気ですが、適切な治療や援助を受けることで回復すると言われています。

まずは、家族や周囲ができる対応方法について学びませんか?ご参加をお待ちしています。

- 日時
12月3日(金) 14:00～16:00
- 内容
①講演
「アルコール依存症の入口、出口
～支え手にできること～」
講師:カウンセリングスペースひなた猫
中島 薫 氏(臨床心理士・公認心理士)
②体験発表
「アルコール依存症からの回復
～家族からのメッセージ～」

- 開催方法
ハイブリッド形式
(対面式と「ZOOM」を用いたオンライン研修)
*会場での参加は原則一般住民を対象にしております。支援者等の参加につきましては、オンラインでの参加にご協力ください。

- 場所
福岡県朝倉総合庁舎 2階大会議室
(朝倉市甘木2014番地1)
- 対象者
アルコール問題で困っている本人・家族
アルコール問題に関心のある地域住民
自助グループ関係者や支援者 等
- 参加費
無料
- 会場定員
30人
- 申し込み
電話にて11月25日(木)までにお申込みください。
- お問合せ先
福岡県北筑後保健福祉環境事務所
健康増進課 精神保健係
電話:0946-22-3965



村の行事 (11/16 ~ 12/15)			
月日	曜日	行事予定	場所・時間・備考
11/21	日	村内ウォーキング in 宝珠山	棚田親水公園・9:30 ~
11/23	火	百年の森記念植樹	山村広場・9:00 ~
11/24	水	乳幼児健診	いずみ館・13:30 ~
11/28	日	農林業振興大会	延期 (2/27 (日) 予定)
12/2	木	東峰村人権教育研修会	いずみ館・19:00 ~
12/4	土	めがね橋ライトアップ (1/4 まで)	めがね橋・17:30 ~ 21:00
12/11	土	総合健 (検) 診	せせらぎ鼓・8:00 ~

※新型コロナウイルス感染症の影響により、日時等、変更になる可能性があります。

人の動き		
東峰村 (令和3年9月末現在) 前月比		
人口	1,994	0
男	928	▲1
女	1,066	▲1
世帯数	841	0

人の動きを
チェック!



今月の納税	税目	●国民健康保険税 (第5期) ●後期高齢者保険料 (第5期)	東峰村ごみ収集量 (令和3年9月分) (kg)			
			種別	当月分	前月分	増減
	納期限	11月30日 (火)	可燃ごみ	31,160	40,100	▲8,940
	口座振替日	11月25日 (木)	資源ごみ	3,600	4,480	▲880
			粗大ごみ	3,950	4,640	▲690
			合計	38,710	49,220	▲10,510

交通事故情勢 (令和3年9月末現在)			
	発生 (前年比)	交通事故死者 (前年比)	飲酒運転事故 (前年比)
朝倉署管内	235 (-39) 件	3 (±0) 名	1 (-1) 件
東峰村	6 (±0) 件	1 (+1) 名	
県下	14,569 (-1,233) 件	76 (+12) 名	63 (-22) 件

編集後記

最近肌寒い日が続いています。こういう時は、あったかいうどんが食べたくくなりますよね。私は東峰村に戻ってくる前は四国の徳島県にいたのですが、うどんの名所香川県が近かったなのでこの時期になるとよくうどんを食べに行っていました。九州のもちもちのやわらかいうどんも美味しいですが、たまにはこしがあるうどんも食べたくくなりますね。美味しいのでぜひ機会があれば食べてみてください。(企画政策課 室井)





おうちで学ぼう！広報担当（初心者）による カメラ初心者のための写真講座（全6回）

～来年の春までにあなたもカメラをマスターしてみませんか？～

●第2回講座「動くものを撮影してみよう」



この写真、どのように撮影しているかわかりますか？この写真は前回のA・AvモードからS・Tvモード（シャッター優先モード）に撮影モードを切り替え、シャッタースピードを調整して、撮影しています。人間の目の開けている時間にあたり、光が入ってくる時間を調整する機能です。シャッタースピードを速くすること（目を開けている時間が短い状態にする）により、明るさは暗くなり、シャッタースピードを遅くすること（目を開けている時間が長い状態にする）により、明るさは明るくなります。

写真撮影において、この『シャッタースピード』を調整することで、撮影の幅がかなり広がりますので、ぜひ覚えて使ってみてください。

シャッタースピード＝ブレ具合の調整

動きのある水の流れ

ブレさせたい！ ←—————→ 止めたい！

遅い



シャッタースピード



早い

1/5 秒

1/50 秒

1/500 秒



カッ……シャ



カッ…シャ



カシャ！



音がゆっくり

音が少しゆっくり

音が一瞬

水が軌跡になる

水がブレる

水が止まる

*カメラの種類によっては、分数の表示が省略されていることがあります。

10” = 「10 秒」、10 = 「1/10 秒」なので、間違えないように注意が必要です。

動いている車を撮影すると・・・



シャッタースピード：1/5 秒



シャッタースピード：1/500 秒

【 応用編 (流し撮り) 】



ここからは応用編です。この写真は、「流し撮り」というテクニックを駆使して撮影しています。どうでしょうか、車に躍動感が出てきたと感じませんか？

このテクニックは、シャッタースピードを遅くすると写真がブレる特性を利用して、前面の車は止まっているけど後ろの背景はブレるように、車のスピードに合わせてカメラを動かして撮影しています。

このテクニックを覚えれば、例えば子どもさんの運動会のリレーの写真などは、もっと迫力のある写真が撮影できますので、ぜひこの機会に覚えて使ってみてください。



シャッタースピードを速くすると、動きが止まり、遅くすると動きがぶれる。

*次号では、「夜景を撮影してみよう」について、ご紹介します。



Photo Gallery

フォトギャラリー



【そばの花】

今月は、そばの花を撮影してみました。地域の方々が遊休農地を活用して植えられたそうです。通常の白色ではなく、珍しい赤色のそばの花というのもポイントですね。

お花のある景色はいつ見てもいいものですね。



毎月23日は親子読書の日です。本を読みましょ
う
東峰村公民館